

**第 2 分科会**

**研 修**

第2分科会 研修に関する事情聴取の集約結果

主題 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方

1 特別支援教育を推進する教員(コーディネーター等)を対象とした研修の工夫と課題

(表中の値は機関数、工夫は5つまで重複回答)

【工夫した点】

内容	工夫した点											計
	① 演習と協議を実施	② 実授業参観や実践発表	③ 工事例検討会の実施・工夫	④ 化コースやテーマの分	⑤ 該当職務の新任者の研修実施	⑥ アレレベルアップ、ステップアップ研修の実施	⑦ 実地域・地区別の研修	⑧ 校種別の研修実施	⑨ 異校種間の実践交流	⑩ 現状の把握と課題の焦点化	⑪ その他	
特別支援教育コーディネーターの養成	74	20	22	9	26	23	13	14	10	16	6	233
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	41	5	27	7	3	14	4	2	2	12	5	122
特別支援学級担当者の指導力向上	50	37	10	20	39	12	11	9	5	19	3	215

※その他(内容)

特別支援学級設置校校長の専門性向上  
高等学校における特別支援教育推進リーダー研修

※その他(工夫した点)

- ・新規担当予定者に対する研修の実施
- ・校内OJTによる実践の研究の企画
- ・最近の知見の学び
- ・継続講師による内容の積み上げ
- ・特支校のセンター的機能の活用
- ・受講者を市町教育委員会が推薦
- ・該当職務2年目までの者の研修実施
- ・外部講師(大学教授)招聘
- ・チーフコーディネーターの指名
- ・特別支援学校での1日実習の実施

【課題】

内容	課題											計
	① 義ニ・演習に内容に応じた設定	② 受講対象者の力量差	③ 合研修者のニーズに	④ ルアレレベルアップ研修の実施	⑤ 幼幼稚園、高校対象の研修実施	⑥ 率的運営	⑦	⑧ との調整・連携	⑨ 還元についての評価	⑩ 指導者・講師の確保	⑪ その他	
特別支援教育コーディネーターの養成	25	35	17	18	7	5	6	20	20	5	1	159
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	22	31	15	16	3	2	1	14	13	8	0	125
特別支援学級担当者の指導力向上	24	28	13	17	2	23	10	21	17	5	2	162

※その他(課題)

- ・講師の確保
- ・心理検査の四角を保有する職員が不在
- ・各学校での新特担のフォロー

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

(表中の値は機関数、内容は3つまで、工夫は5つまで複数回答)

【工夫した点】

内容	工夫した点											計
	① 演習と協議を実施	② 実授業参観や実践発表	③ 工事例検討会の実施・工夫	④ 化コースやテーマの分	⑤ 該当職務の新任者の研修実施	⑥ アレレベルアップ、ステップアップ研修の実施	⑦ 実地域・地区別の研修	⑧ 校種別の研修実施	⑨ 異校種間の実践交流	⑩ 現状の把握と課題の焦点化	⑪ その他	
通常の学級における発達障害の理解と支援	33	10	7	5	1	8	3	2	5	17	7	98
新任特別支援学級等担当者研修	22	16	5	5	9	0	8	6	2	8	2	83
通級指導教室専門研修	18	11	15	4	11	4	1	3	4	4	1	76
特別支援学校対象の専門的研修	13	11	4	4	3	2	1	2	1	6	1	48
特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座	11	8	2	4	1	6	0	2	4	8	1	47
特別支援教育全般の専門研修	7	4	2	5	0	3	1	3	1	3	0	29
特別支援教育の今日的課題	4	0	2	0	1	0	1	0	1	4	1	14
心理検査の実施と解釈	4	0	3	0	0	2	1	0	1	0	0	11
通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり	12	8	1	2	0	3	1	1	3	10	3	44
幼稚園や高等学校に特化した研修講座	5	2	0	2	0	0	0	1	2	0	2	14
その他	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6

※その他(内容)

- ・自立活動の研修
- ・オリ・パラ(ポッチャ)
- ・特別支援教育支援員の研修

※その他(工夫した点)

- ・対象校種をよく知る講師の選定
- ・大学教授の講義と実践発表の組み合わせ
- ・休日を利用して教職員が自主的に参加する研修
- ・教職員と学生の合同研修
- ・著名な講師の招聘
- ・疑似体験

・出前研修の実施

- ・講師の確保
- ・特別支援教育指導員配置による理解促進
- ・障害種別の研修実施

【課題】

課 題 内 容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	計
	義 ニ ー ズ に 応 じ た 講 定	受 講 対 象 者 の 力 量 差	合 研 修 者 の ニ ー ズ に	ル レ ベ ル ア ッ プ 研 修 の 実 施	幼 稚 園 、 高 校 対 象 の 研 修 実 施	受 講 者 増 加 に 伴 う 効 率 的 運 営		と の 研 修 内 容 に 関 し て 地 教 委 等 と の 調 整 ・ 連 携	受 講 成 果 の 地 域 、 各 校 で の 選 元 に 関 し て の 評 価	指 導 者 ・ 講 師 の 確 保	そ の 他	
通常の学級における発達障害の理解と支援	21	20	6	9	8	13	1	11	15	3	0	107
新任特別支援学級等担当者研修	9	12	7	6	2	14	1	8	10	1	3	73
通級指導教室専門研修	11	12	10	9	6	0	3	8	10	3	0	72
特別支援学校対象の専門的研修	9	4	6	4	0	4	0	3	7	0	0	37
特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座	12	12	4	5	1	3	0	4	7	2	0	50
特別支援教育全般の専門研修	6	5	3	2	1	2	1	1	2	2	1	26
特別支援教育の今日的課題	1	0	3	1	2	1	0	2	3	0	0	13
心理検査の実施と解釈	2	2	1	2	0	1	1	1	2	0	0	12
通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり	10	6	3	3	6	4	0	4	8	2	0	46
幼稚園や高等学校に特化した研修講座	3	2	2	0	1	1	0	5	3	0	0	17
その他	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6

※その他(課題)

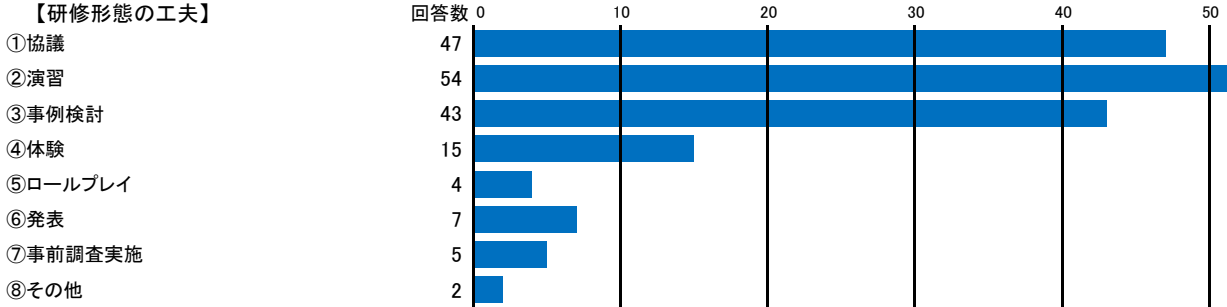
- ・学校の組織づくり
- ・課題の焦点化
- ・対象の絞り込み
- ・指名の継続性
- ・申込数の少なさ

### 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

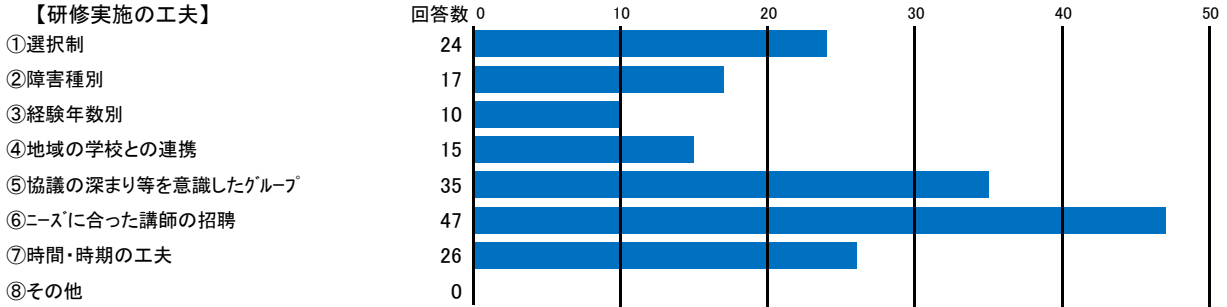
#### (1) 研修の効果的な在り方

(講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項3つ選択)

##### 【研修形態の工夫】

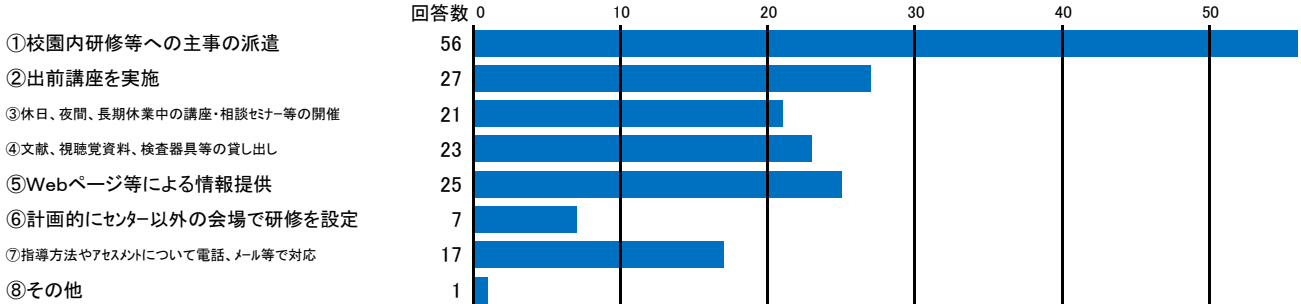


##### 【研修実施の工夫】



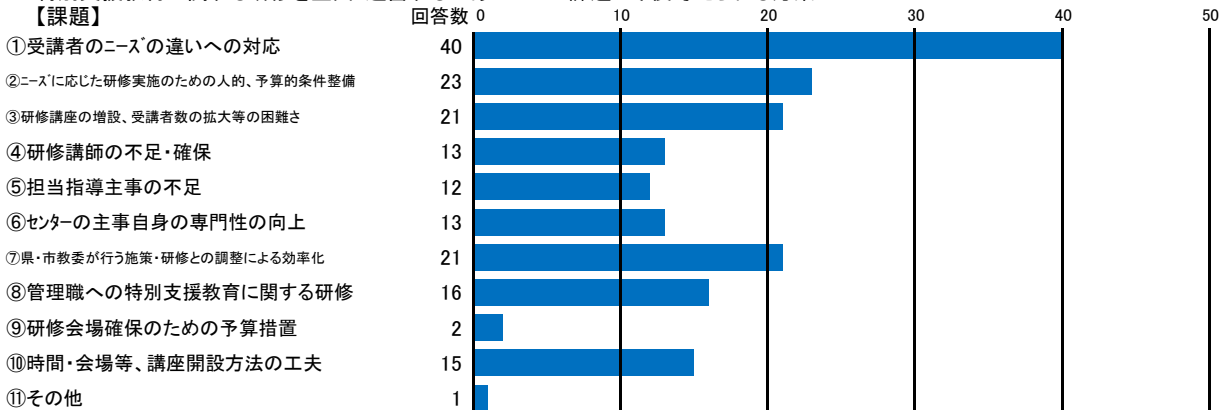
#### (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

(実施している支援方法のうち主なものを3つまで選択)



### 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

##### 【課題】



## 【今後考えられる方策】

### ①研修内容及び講師選定の工夫(37)

- ・指導主事候補の教員を講師として招聘し、講座運営に参画させるなどの人材育成の取組
- ・高等学校における「通級による指導」制度運用開始に伴う高等学校特別支援教育コーディネーター研修等の充実
- ・新学習指導要領への移行に伴う教育課程の充実に繋がる研修内容、講師の検討
- ・特別支援教育の動向や研修者のニーズを踏まえた研修講座内容の検討と改善
- ・年次研修や関係諸機関と連携し、若手講師の育成や発掘を図る。
- ・研修受講者のアンケート分析を行い、研修構築を見直す。
- ・新学習指導要領の内容に対応した研修内容の充実
- ・校務分掌に応じた研修設定ではなく、SSTやUDL、保護者対応等の内容単発の希望研修を実施する。
- ・小、中学校における特別支援教育の充実のため、特別支援学級及び通級指導教室担当者の資質能力向上を目指し、レベルアップ、ステップアップを目指した研修となるよう、従来の研修講座の見直しと活用、周知を図る工夫をする。
- ・研修受講者のアンケートをもとにニーズを把握し、次年度の研修内容に反映させる。
- ・受講後のアンケートの結果等から受講対象者のニーズを把握し、次年度以降の講座を構築する。
- ・県の現状と課題を把握した上で、研修の企画から実施まで、高い専門性のある外部の機関へと依頼する。
- ・担当部署が違う県が主催する研修について、内容やニーズを踏まえて実施方法や機会を精選、充実させる。
- ・研修後期間をおいてアンケートを行い、次年度の講座構築に活かす。
- ・受講者のニーズに応じられるように、「基礎編」「専門編」と分けるなど、内容に応じて選択しやすい工夫を図る。
- ・研修内容の重複の解消と系統的な研修の実施
- ・受講者のニーズを的確に把握し対応する。
- ・受講対象者を絞った研修を実施する。
- ・障がい種、校種に応じた研修内容の工夫
- ・特別支援学校教員、通常の学級担任等、受講対象者の校種のバランスを考えた研修を企画し、ニーズに応じることができるよう内容を工夫する。
- ・教職員のキャリアステージと関連した研修体系の整理と県民に対する周知
- ・研修講師に係る情報を県内及び県外研修等で収集する。
- ・研修終了時のアンケート等をもとに、より受講者のニーズを反映した研修を企画、実施する。
- ・アンケート等により受講者のニーズの把握に努めるとともに、特別支援教育に関するキャリアステージに応じた研修を実施し、個々の教員の資質・能力の向上を図る。
- ・全校種に対応した研修テーマの設定
- ・受講者のニーズ及び現在の動向からの研修内容見直し
- ・アンケート集約結果及び関係部署との情報交換による受講者のニーズ把握
- ・限られた予算内での研修講座を実施するため、年度毎に障害種別の研修講座に予算的な軽重を付け、遠方から講師招聘を行う。
- ・該当職務2年目までの者を対象とした研修講座において、学校訪問による支援の流れ(観察→発達検査の実施→面談)を想定した講義・演習を実施(特別支援教育コーディネーターの実務と接続した研修講座の工夫)
- ・受講者の学校種、経験等を踏まえた内容の構築。研修中の受講者とのやり取りや研修評価シートを通して受講者の悩み・ニーズ等を把握し内容構築に反映させる。
- ・受講者のニーズに応じた研修としていくため、事前アンケート調査を実施し、研修講座を組み立てる。
- ・受講者アンケートによるニーズの把握とこれまで企画のなかった分野(進路指導や性教育など)の検討
- ・働き方改革と相まって、他の研修と内容や時期等にかかわる調整・生鮮
- ・研修の受講や実践経験を経て、一定の力量や知識を身に付けた教員がさらに指導力・専門性を向上させるための研修を充実させていく。
- ・発達障がいについて、実態把握・指導・自立と社会参加に関する専門性の高い有識者(大学教授等)による連続講座を継続して実施していく。
- ・人的・予算的な確保が課題であり、広島市教育委員会学校教育部特別支援教育課と連携を取り、充実に努めたい。
- ・近隣大学との連携による講師の選定
- ・より実践的な内容について、経験豊富な退職教員等を活用した研修
- ・派遣研修者や各圏域教育事務所からの情報に基づき、研修講師候補となる人材を上げる。
- ・実践報告者を育成する。
- ・経験年数や力量差に対応するため、講師との事前打合わせ時に受講者の状況を伝える等、ニーズに応じた研修が実施できるよう努めたい。
- ・事前アンケート等により、受講者のニーズを把握する。

## ②他機関との連携

- ・大学と連携して研修会を実施することにより、教員志望の学生と現職の教員が相互に学びを深められるようにする。
- ・県教委との役割分担の明確化を図りながら、連携をして特別支援教育への理解を深める取組を進める必要がある。
- ・県・市町村教委等からの聞き取り
- ・県や市町の教育委員会と連携した地域の課題に応じた特別支援教育推進のための研修
- ・通常学級内における発達障害のある子への支援については、各教科や学級づくり、生徒指導の中でも実施できるよう、更なる研修の充実と組織内の連携を推進する。
- ・地域支援センター等と連携した講座の充実
- ・県内大学との連携による講座
- ・市町教委との連携による講座
- ・各地域の研究会や市町村の研修と連携し、役割分担や実施時期の調整等を図る。
- ・外部専門機関を効果的・効率的に研修等へ活用すること
- ・都道府県と政令市、特別支援学校が実施する研修を、相互に受講可能とする。ただし、互いの研修の体系や意図、受講手続きなどの調整が課題だと思う。
- ・文科省等が配信している研修のVTRを各校の実情に応じて視聴する。
- ・特別支援教育にかかわる市教委の各部署との一層の連携と役割分担をすすめること。
- ・特別支援教育に関するニーズが高くなっている現状で、ニーズに応じた研修の実施、研修講座の増設に対応するためには、センターの研修以外に近隣の自治体や大学等と連携して研修講座を設置し、受講しやすい環境を整えることが重要である。また、教職員に広く広報し講座について周知することが大切である。
- ・義務教育課、高校教育課、幼保推進課との研修内容の検討
- ・各障害種別の研修会について、特別支援学校を会場に専門性の高い当該学校教員を講師にして開催していく。
- ・市町村教育委員会との連携の更なる充実
- ・研修当日のみでなく、教育事務所やセンター的機能担当者等と連携しながら、事後もつながりをもって支援を行う。
- ・各教育事務所と連携し、研修の広報やオープン参加を可能とするなど、より多くの教職員が受講できるような対応を考える。
- ・教育庁や教育事務所等の特別支援教育担当者間で、研修の在り方について定期的に会議を設ける。
- ・センター研修の精選が求められる中、本庁特別支援教育課や市町村教委主催の研修等との内容分担や日程調整等を行う。
- ・管理職への特別支援教育に関する研修に関して、市町村教育委員会や教育事務所との連携を図る。
- ・発達障害者支援センター等との連携

## ③研修形態の工夫

- ・研修講座や学校等の校内研修の中で、特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒について事例検討する場面を設け、具体的な支援を導き出すことができるようにする。
- ・高等学校における特別支援教育の理解推進
- ・研修履歴システムの導入（経験年数による内容の区分、受講済研修履歴の把握等）
- ・県の施策として実施する研修と時間や会場を調整しながら、各ニーズに応える研修を企画する。ネットで配信される講座を視聴する研修受講の可能性を考える。
- ・研修体系の整備や研修講座の改善
- ・学校現場への研修効果の還元のための研修方法の工夫（センター招集型から出前型へ）
- ・講義内容のビデオ配信
- ・受講者が受講後に取り組みたいことを具体化できる講座構成
- ・特別支援教育に関する研修者増加に伴う会場設定、演習内容や協議班等の工夫
- ・Web配信等を検討し、研修に係る指導者及び受講者の負担を軽減する。
- ・学校を離れる時間が短くて済むように、地域開催や午後からのみの開催の研修を増やす。
- ・受講者アンケート結果を踏まえ、研修ニーズに合わせた研修内容・研修携帯で実施できるように工夫する。
- ・各教育機関をつないだ遠隔通信研修による効率化
- ・段階的に専門性を高めるために、複数の講座をパッケージ化する。
- ・実践に結びつけやすい具体的で体験的な研修を計画する。
- ・専門研修や自主研修（若手セミナー）等の効果的、継続的な実施
- ・講義・実践発表・演習・協議等を組み合わせ、一貫性のある講座運営

- ・学校会場による実地研修
- ・より受講者が課題意識をもって、主体的に研修を行うための研修形態の工夫
- ・集合研修だけでなく、オンライン研修、サテライト型研修を組み合わせる。
- ・講義・協議・演習を盛り込んだ研修形態
- ・(限られた予算内で)多様なニーズに応じられるような、内容の選択と日程等の柔軟な設定(隔年開催等を含む)
- ・受講者が参加しやすく、ニーズにタイムリーに応えられるように、例えば、webで研修を配信する。ただし、内容の更新や効果測定などのシステム作りが課題だと思う。
- ・上記の講座を受講した教員が、各地域の特別支援教育推進のリーダーとして相談支援、事例報告等を行い、本市特別支援教育を一層推進していく。
- ・大学と連携して大学の講座等に教職員が参加する。
- ・巡回相談形式でOJT的な指導が受けられる研修
- ・遠隔授業システムを活用した研修システムづくり
- ・「教員のキャリアステージにおける資質の向上に関する指標」に沿って今年度の研修について検証し、次年度以降の研修を整理・構築する。
- ・受講対象者の力量差に対し、力量別にグループを編成する。または、力量差のあるグループを編成し、学び合える機会を設ける。
- ・主体的な参加を促すため、協議演習を取り入れた研修講座の設定を行う。
- ・演習や協議を取り入れた研修形態の工夫

#### ④指導主事の研さん

- ・県内外の研修会等への参加による最新情報の収集、人脈づくり
- ・いわて特別支援教育推進プラン(H31年～)に合わせた研修推進のための研鑽
- ・講義資料の事前協議、研修会への自主参加
- ・センター指導主事の専門性を向上させるための計画的な所内外研修の実施
- ・特別支援教育にかかわる研修講座の内容の検討と共有化
- ・所員研修による指導主事の専門性の向上
- ・通常の学級において有効な特別支援教育に関するアドバイスができるよう、集団作りやカウンセリングに関する研さんを行う。
- ・指導主事の特別支援教育に関する専門性の向上
- ・行政・学校現場の現状と課題等に対応できる人材の育成
- ・学校や地区単位のニーズに応じた出前サポート等における研修の実施
- ・動画の活用について検討し、研修機会の拡充や研修内容の充実を図る。

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 2	機関名 北海道立特別支援教育センター
--	-----------	-----------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤
その他	①	②	③	④	⑤

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化
  - ⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ）
  - ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ② ③	④ ⑤ ⑥ ⑦
②	① ② ③	④ ⑤ ⑥ ⑦
③	① ② ③	④ ⑤ ⑥ ⑦

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択）
- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- ①研修実施の工夫 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
- ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	・指導主事候補の教員を講師として招聘し、講座運営に参画させるなどの人材育成の取組
③	・受講者が受講後に取り組みたいことを具体化できる講座構成
④	・遠隔授業システムを活用した研修システムづくり

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 3	機関名 青森県総合支援教育センター
--	-----------	----------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤
その他	①	②	③	④	⑤

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化
  - ⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ）
  - ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ② ③	④ ⑤ ⑥ ⑦
②	① ② ③	④ ⑤ ⑥ ⑦
③	① ② ③	④ ⑤ ⑥ ⑦

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択）
- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- ①研修実施の工夫 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
- ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	研修講座や学校等の校内外研修の中で、特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒について事例検討する場面を設け、具体的な支援を講義し出すことができるようにする。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 4	機関名 岩手県立総合教育センター
--	-----------	---------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理療育にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・ 工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施、工夫 ④ニューズやページの分化  
⑤談話と協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ⑫ようひの研修の実施）  
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- ・ 課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・ 内容  
①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理療育の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援  
(1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択)

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ( )

- ・ 研修実施の工夫  
①選択制 ②履修年数別 ③地域や学校との連携 (会場使用、参観等) ④協議の深まりや  
ネットワーキングを意図したグループ編成 ⑤ニーズに合った講師の招聘 ⑥時間・時期の工夫  
⑦その他 ( )

- ・ 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
(1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備  
③研修講座の開設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他 ( )

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的内容
①	・ 高等学校における「通級による指導」制度運用開始に伴う高等学校特別支援教育 コーディネーター研修等の充実
④	・ いわて特別支援教育推進プラン (H31年～) に合わせた研修推進のための研修

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 5	機関名 宮城県総合教育センター
--	-----------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理療育にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・ 工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施、工夫 ④ニューズやページの分化  
⑤談話と協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ⑫著名な講師の招聘）  
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- ・ 課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・ 内容  
①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理療育の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援  
(1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択)

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ( )

- ・ 研修実施の工夫  
①選択制 ②履修年数別 ③地域や学校との連携 (会場使用、参観等) ④協議の深まりや  
ネットワーキングを意図したグループ編成 ⑤ニーズに合った講師の招聘 ⑥時間・時期の工夫  
⑦その他 ( )

- ・ 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
(1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備  
③研修講座の開設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他 ( )

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的内容
②	・ 大学と連携して研修を実施することにより、教員志望の学生と現職の教員が相互に 学びを深められるようにする。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 6	機関名 秋田県総合教育センター
--	-----------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤
特別支援学校教職担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤
その他	①	②	③	④	⑤

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化  
⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1 ( )  
⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤協働、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他1 ( ) ⑪その他2 ( ) ⑫その他3 ( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで) )

内容	工夫した点	課題
②	① ② ⑦ ⑩	① ② ③ ⑧
⑤	② ⑥ ⑩	① ② ③ ⑧
⑥	① ④ ⑩	① ② ③

- ・内容  
①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学校教職等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 ( )  
⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援  
(1) 研修の効果が在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)

研修形態の工夫	①	②	③
①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ( )			

- ・研修実施の工夫  
①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他 ( )

- ⑥  
⑦  
⑧  
⑨  
⑩  
⑪  
⑫  
⑬  
⑭  
⑮  
⑯  
⑰  
⑱  
⑲  
⑳  
㉑  
㉒  
㉓  
㉔  
㉕  
㉖  
㉗  
㉘  
㉙  
㉚  
㉛  
㉜  
㉝  
㉞  
㉟  
㊱  
㊲  
㊳  
㊴  
㊵  
㊶  
㊷  
㊸  
㊹  
㊺  
㊻  
㊼  
㊽  
㊾  
㊿

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

支援方法	①	②	③
①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ( )			

- ・課題  
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備  
③研修講座の開設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他 ( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的内容
① 新学習指導要領への移行に伴う教育課程の充実に繋がる研修内容、講師の検討	
② 義務教育課、高校教育課、幼保連携課との研修内容の検討	

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 7	機関名 山形県教育センター
--	-----------	------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤
特別支援学校教職担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤
その他	①	②	③	④	⑤

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化  
⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1 ( )  
⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤協働、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他1 ( ) ⑪その他2 ( ) ⑫その他3 ( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで) )

内容	工夫した点	課題
②	① ② ⑦ ⑩	① ② ③ ⑧
⑤	② ⑥ ⑩	① ② ③ ⑧
⑥	① ④ ⑩	① ② ③

- ・内容  
①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学校教職等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 ( )  
⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援  
(1) 研修の効果が在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)

研修形態の工夫	①	②	③
①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ( )			

- ・研修実施の工夫  
①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他 ( )

- ⑥  
⑦  
⑧  
⑨  
⑩  
⑪  
⑫  
⑬  
⑭  
⑮  
⑯  
⑰  
⑱  
⑲  
⑳  
㉑  
㉒  
㉓  
㉔  
㉕  
㉖  
㉗  
㉘  
㉙  
㉚  
㉛  
㉜  
㉝  
㉞  
㉟  
㊱  
㊲  
㊳  
㊴  
㊵  
㊶  
㊷  
㊸  
㊹  
㊺  
㊻  
㊼  
㊽  
㊾  
㊿

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

支援方法	①	②	③
①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ( )			

- ・課題  
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的條件整備  
③研修講座の開設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他 ( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的内容
⑤ 学校や地区単位のニーズに応じた出前サポート等における研修の実施	

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会	機関番号	機関名
研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	8	福島県特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
 (工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	選択した点	課	題
特別支援教育コーディネーターの養成	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
特別支援学級担当者の指導力向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
その他			

- ・ 工夫した点
  - ① 演習と協議を実施 ② 授業參觀や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ コーディネーターの分化
  - ⑤ 該当講師の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施
  - ⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の実践交流 ⑩ 現状の把握と課題の重点化 ⑪ その他1 ( )
  - ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )
- ・ 課題
  - ① ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニーズに合った研修体系
  - ④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 協働型、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効果的運営
  - ⑦ 研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての詳細 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1 ( ) ⑪ その他2 ( ) ⑫ その他3 ( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 (内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	工夫した点	課	題
①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
⑤	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)

- ・ 内容
  - ① 通常の学級における登壇者の理解と支援 ② 新任特別支援学級等担当者研修 ③ 通級指導教室専門研修
  - ④ 特別支援学級対象の専門的研修 ⑤ 特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥ 特別支援教育全般の専門研修 ⑦ 特別支援教育の今日的課題 ⑧ 心理検査の実施と解釈 ⑨ 通級学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩ 幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援  
 (1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)

研修形態の工夫	①	②	③
① 協議	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
② 演習	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
③ 事例検討	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
④ 体験	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
⑤ ロールプレイ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
⑥ 発表	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
⑦ 事前調査実施	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
⑧ その他	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)

- ① 選択別 ② 履修種別 ③ 履修年数別 ④ 地域の学校との連携 (会場使用、參觀等) ⑤ 協議の深まりやネットワーキングを意識したグループ編成 ⑥ ニーズに合った講師の招聘 ⑦ 時間・時期の工夫 ⑧ その他 ( )

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

支援方法	①	②	③	④	⑤
① 校内外研修等への主事の派遣	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)	(3)	(4)
② 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)	(3)	(4)
③ Webページ等による情報提供	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)	(3)	(4)
④ 指導方法を設定	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)	(3)	(4)
⑤ 会場での研修を設定	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)	(3)	(4)

- ① 受講者のニーズの選いへの対応 ② ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
- ③ 研修講師の増設、受講者の拡大等の困難さ ④ 研修講師の不足・確保 ⑤ 担当指導主事の不足
- ⑥ センターの主事自身の専門性向上 ⑦ 県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化
- ⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨ 研修会場確保のための予算措置 ⑩ 時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪ その他 ( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的内容
①	特別支援教育の動向や研修者のニーズを踏まえた研修課題内容の検討と改善
②	特別支援教育に関する研修者増加に伴う会場設定、演習内容や協議班等の工夫
③	所属研修による指導主事の専門性向上

- ① 研修内容及び講師選定の工夫 ② 他機関との連携 ③ 研修形態の工夫 ④ 指導主事の研さん
- ⑤ その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会	機関番号	機関名
研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	9	茨城県教育研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
 (工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	選択した点	課	題
特別支援教育コーディネーターの養成	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
特別支援学級担当者の指導力向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
その他			

- ・ 工夫した点
  - ① 演習と協議を実施 ② 授業參觀や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ コーディネーターの分化
  - ⑤ 該当講師の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施
  - ⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の実践交流 ⑩ 現状の把握と課題の重点化 ⑪ その他1 ( )
  - ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )
- ・ 課題
  - ① ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニーズに合った研修体系
  - ④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 協働型、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効果的運営
  - ⑦ 研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての詳細 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1 ( ) ⑪ その他2 ( ) ⑫ その他3 ( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 (内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	工夫した点	課	題
①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
⑤	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)

- ・ 内容
  - ① 通常の学級における登壇者の理解と支援 ② 新任特別支援学級等担当者研修 ③ 通級指導教室専門研修
  - ④ 特別支援学級対象の専門的研修 ⑤ 特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥ 特別支援教育全般の専門研修 ⑦ 特別支援教育の今日的課題 ⑧ 心理検査の実施と解釈 ⑨ 通級学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩ 幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援  
 (1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)

研修形態の工夫	①	②	③
① 協議	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
② 演習	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
③ 事例検討	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
④ 体験	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
⑤ ロールプレイ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
⑥ 発表	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
⑦ 事前調査実施	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)
⑧ その他	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)

- ① 選択別 ② 履修種別 ③ 履修年数別 ④ 地域の学校との連携 (会場使用、參觀等) ⑤ 協議の深まりやネットワーキングを意識したグループ編成 ⑥ ニーズに合った講師の招聘 ⑦ 時間・時期の工夫 ⑧ その他 ( )

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

支援方法	①	②	③	④	⑤
① 校内外研修等への主事の派遣	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)	(3)	(4)
② 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)	(3)	(4)
③ Webページ等による情報提供	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)	(3)	(4)
④ 指導方法を設定	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)	(3)	(4)
⑤ 会場での研修を設定	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	(1)	(2)	(3)	(4)

- ① 受講者のニーズの選いへの対応 ② ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的條件整備
- ③ 研修講師の増設、受講者の拡大等の困難さ ④ 研修講師の不足・確保 ⑤ 担当指導主事の不足
- ⑥ センターの主事自身の専門性向上 ⑦ 県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化
- ⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨ 研修会場確保のための予算措置 ⑩ 時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪ その他 ( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的内容
①	高等学校における特別支援教育の理解推進

- ① 研修内容及び講師選定の工夫 ② 他機関との連携 ③ 研修形態の工夫 ④ 指導主事の研さん
- ⑤ その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 10	機関名 栃木県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点			課題
	①	②	③	
特別支援教育コーディネーターの養成	( )	( )	( )	( )
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	( )	( )	( )	( )
特別支援学級担当者の指導力向上	( )	( )	( )	( )
その他	( )	( )	( )	( )

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化
  - ⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（県教委との連携）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点			課題
	①	②	③	
①	( )	( )	( )	( )
②	( )	( )	( )	( )
③	( )	( )	( )	( )
④	( )	( )	( )	( )

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択）
- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- ①研修実施の工夫
  - ③
  - ⑤
  - ⑥
- ①選択例 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）
- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備 ③研修講師の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
②	県、市町村教委等からの聞き取り
	④ 講義資料の事前協議、研修会への自主参加

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 11	機関名 群馬県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点			課題
	①	②	③	
特別支援教育コーディネーターの養成	( )	( )	( )	( )
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	( )	( )	( )	( )
特別支援学級担当者の指導力向上	( )	( )	( )	( )
その他	( )	( )	( )	( )

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化
  - ⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（県教委との連携）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点			課題
	①	②	③	
①	( )	( )	( )	( )
②	( )	( )	( )	( )
③	( )	( )	( )	( )
④	( )	( )	( )	( )

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択）
- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- ①研修実施の工夫
  - ④
  - ⑤
  - ⑦
- ①選択例 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）
- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備 ③研修講師の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
②	県、市町村教委等からの聞き取り
④	講義資料の事前協議、研修会への自主参加

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 12	機関名 埼玉県立総合教育センター
--	------------	---------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
特別支援学級担当者の指導力向上	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
その他	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化
  - ⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1 ( ) ⑪その他2 ( ) ⑫その他3 ( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
④	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
⑤	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実にあたっての課題と今後考えられる方策  
(1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択)

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ( )

- ①研修実施の工夫
  - ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
  - ⑧その他 ( )

(2) 自主的研修や校内外研修の充実にあたっての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
(1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備 ③研修講座の開設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他 ( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的内容
①	年次研修や関係諸機関と連携し、若手講師の育成や発掘を図る。
③	Web配信等を検討し、研修に係る指導者及び受講者の負担を軽減する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 13	機関名 千葉県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
特別支援学級担当者の指導力向上	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
その他	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化
  - ⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1 ( ) ⑪その他2 ( ) ⑫その他3 ( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
④	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
⑤	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実にあたっての課題と今後考えられる方策  
(1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択)

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ( )

- ①研修実施の工夫
  - ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
  - ⑧その他 ( )

(2) 自主的研修や校内外研修の充実にあたっての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
(1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備 ③研修講座の開設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他 ( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的内容
③	研修履修システムへの導入 (経験年数による内容の区分、受講済研修履歴の把握等)

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 14	機関名 東京都教職員研修センター
--	------------	---------------------

※研修番号、機関名は、第1分科会の入力内容に反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	工夫した点			課題		
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑤	⑧	⑩	②	⑦
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	④	⑥			
特別支援学校教員担当者の指導力向上	①	②	⑥		②	⑥
その他						

- ・工夫した点  
①該当と協議の新任者の研修実施 ②レベリングアップ研修の実施 ③地域・地区別の研修実施  
④発達障害の研修実施 ⑤異職種間の実践交流 ⑥現状の把握と課題の焦点化 ⑦その他1  
⑧その他2 ⑨その他3
- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベリングアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1  
⑪その他2 ⑫その他3

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	工夫した点			課題		
①	①	②		②	①	
②	⑦	⑩		⑧	⑨	
③	④	⑧		②		

- ・内容  
①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学校等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校等特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1  
⑫その他2 ⑬その他3

3 研修の効率的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効率的な在り方 (講座の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択)  
①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他

- ①研修実施の工夫  
②選択制 ③経験年数別 ④地域や学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)  
①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)  
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備  
③研修者の不足 ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)  
研究の内容  
具体的内容

①	研修受講者のアンケート分析を行い、研修構築を見直す。
⑤	動画の活用について検討し、研修機会の拡充や研修内容の充実を図る。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他 (動画の活用)

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 15	機関名 神奈川県立総合教育センター
--	------------	----------------------

※研修番号、機関名は、第1分科会の入力内容に反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	工夫した点			課題		
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥
特別支援学校教員担当者の指導力向上	①	⑦		①	②	⑥
その他						

- ・工夫した点  
①該当と協議の新任者の研修実施 ②レベリングアップ研修の実施 ③地域・地区別の研修実施  
④発達障害の研修実施 ⑤異職種間の実践交流 ⑥現状の把握と課題の焦点化 ⑦その他1  
⑧その他2 ⑨その他3
- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベリングアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1  
⑪その他2 ⑫その他3

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	工夫した点			課題		
②	④	①	②	①	①	⑨
③	②	③	⑤	③	②	⑩
④	①	③		①		

- ・内容  
①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学校等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校等特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1  
⑫その他2 ⑬その他3

3 研修の効率的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効率的な在り方 (講座の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択)  
①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他

- ①研修実施の工夫  
②選択制 ③経験年数別 ④地域や学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)  
①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)  
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備  
③研修者の不足 ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)  
研究の内容  
具体的内容

①	新学習指導要領の内容に対応した研修内容の充実
---	------------------------

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 16	機関名 新加島立教育センター
--	------------	-------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化  
⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤協働、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての詳細 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可5つまで））

内容	1	2	3	4	5	6	7
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑧	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

- ・内容  
①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

（1）研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えうるものを各3つ選択）

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

①研修実施の工夫 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

- ①選択制 ②履修種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

（1）課題（考えられる主なものを3つ選択）

- ①受講者のニーズの多いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備  
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他（ ）

2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	資格分掌に応じた研修設定ではなく、SSTやU/D/L、保護者対応等の内容専発の希 望研修を実施する
③	学校を離れる時間が短くて済むように、地域開催や年後のみの開催の研修を増やす。
④	通常の学級において有効な特別支援教育に関するアドバイザーができるよう、集団作り やガウンセッションに関する研さんをを行う

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 17	機関名 富山県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化  
⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤協働、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての詳細 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可5つまで））

内容	1	2	3	4	5	6	7
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑧	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

- ・内容  
①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

（1）研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えうるものを各3つ選択）

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

①研修実施の工夫 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

- ①選択制 ②履修種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他（ ）

2）自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

（1）課題（考えられる主なものを3つ選択）

- ①受講者のニーズの多いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的條件整備  
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他（ ）

2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	県、市教委には研修実施の目的、特別支援学級及び通級指導教室の設置方針を目的とし、レベラア ップ、ステップアップ研修などを行う。長期的な研修の風土とする。
③	・受講者アンケート結果を踏まえ、研修ニーズに合わせた研修内容・研修機帯で実施 できるように工夫する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 18	機関名 石川県教員総合研修センター
--	------------	----------------------

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

内容	工夫した点	課題
特別支援教育コーディネーターの養成	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
特別支援学級担当者の指導力向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- ・工夫した点  
 ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施、工夫 ④コースやサブテーマの分化  
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベリングアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
 ⑧校務別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（※研修センター協議会以外）  
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題  
 ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
 ④レベリングアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
⑤	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- ・内容  
 ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③連絡指導教官専門研修  
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択）
- ①協賛 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）
  - 研修実施の工夫
    - ①選択制 ②履修年数別 ③地域や学校との連携（会場使用、参観等） ④協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑤ニーズに合った講師の招聘 ⑥時間・時期の工夫 ⑦その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出席講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
- ④文献、視覚資料、検査器具等の貸出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等での対話 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
  - ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
  - ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化
  - ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
④	県内外の研修会等への参加による最新情報の収集、人脈づくり
①	研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）	

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 19	機関名 福井県特別支援教育センター
--	------------	----------------------

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

内容	工夫した点	課題
特別支援教育コーディネーターの養成	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
特別支援学級担当者の指導力向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- ・工夫した点  
 ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施、工夫 ④コースやサブテーマの分化  
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベリングアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
 ⑧校務別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（※研修センター協議会以外）  
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題  
 ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
 ④レベリングアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
⑤	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- ・内容  
 ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③連絡指導教官専門研修  
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択）
- ①協賛 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）
  - 研修実施の工夫
    - ①選択制 ②履修年数別 ③地域や学校との連携（会場使用、参観等） ④協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑤ニーズに合った講師の招聘 ⑥時間・時期の工夫 ⑦その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出席講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
- ④文献、視覚資料、検査器具等の貸出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等での対話 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的條件整備
  - ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
  - ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化
  - ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
②	県や市町の教育委員会と連携した地域の課題に応じた特別支援教育推進のための研修
③	各教育機関をつなぐ遠隔通信研修による効率化
①	研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）	

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会	機関番号	機関名
研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	20	山梨県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容と一致させます。

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
 (工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤
特別支援学校教員担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤
その他	①	②	③	④	⑤

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化
  - ⑤該当職員の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他( )
  - ⑫その他2( ) ⑬その他3( )
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1( )
  - ⑪その他2( ) ⑫その他3( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 (内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	工夫した点	課題
①	①	①
②	②	②
③	③	③
④	④	④
⑤	⑤	⑤

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学校等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1( )
  - ⑫その他2( ) ⑬その他3( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援

- (1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択)
- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他( )

- ①研修実施の工夫
  - ②
  - ③
  - ④
  - ⑤
  - ⑥
  - ⑦
- ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他( )

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的な内容
①	研修受講者のアンケートをもとにニーズを把握し、次年度の研修内容に反映させる。
②	各履修種別の研修会について、特別支援学校を会場に専門性の高い当該学校教員を講師にして開催していく。
③	
④	

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会	機関番号	機関名
研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	21	長野県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容と一致させます。

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
 (工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤
特別支援学校教員担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤
その他	①	②	③	④	⑤

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化
  - ⑤該当職員の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他( )
  - ⑫その他2( ) ⑬その他3( )
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1( )
  - ⑪その他2( ) ⑫その他3( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 (内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	工夫した点	課題
①	①	①
②	②	②
③	③	③
④	④	④
⑤	⑤	⑤

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学校等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1( )
  - ⑫その他2( ) ⑬その他3( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援

- (1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択)
- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他( )

- ①研修実施の工夫
  - ②
  - ③
  - ④
  - ⑤
  - ⑥
  - ⑦
- ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他( )

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的な内容
②	通常学級内における発達障害のある子どもへの支援については、各教科や学級づくり、生徒指導の中でも実施できるように、更なる研修の充実と組織と組織間での連携を推進する。
③	段階的に専門性を高めるために、複数の講座をパッケージ化する。
④	
⑤	

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 22	機関名 岐阜県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力記録表に記されています。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理療育にかかわる専門性向上	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学校教員担任者の指導力向上	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
その他	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化
  - ⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（講師の確保）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学校教員等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校等特別支援学校対象の専門的研修 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理療育の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択）
- ①協賛 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- 研修実施の工夫
- ①選択制 ②履修年数別 ③地域や学校との連携（会場使用、参観等） ④協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑤ニーズに合った講師の招聘 ⑥時間・時期の工夫 ⑦その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）
- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講後のアンケートの結果等から受講対象者のニーズを把握し、次年度以降の講座を構築する。
②	派遣研修者や各園域教育事務所からの情報に基づき、研修講師候補となる人材を上げる。
③	「教員のキャリアアセスメントにおける資質の向上に関する指標」に沿って今年度の研修について検証し、次年度以降の研修を整理・構築する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 23	機関名 静岡県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力記録表に記されています。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理療育にかかわる専門性向上	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学校教員担任者の指導力向上	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
その他	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化
  - ⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学校教員等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校等特別支援学校対象の専門的研修 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理療育の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択）
- ①協賛 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- 研修実施の工夫
- ①選択制 ②履修年数別 ③地域や学校との連携（会場使用、参観等） ④協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑤ニーズに合った講師の招聘 ⑥時間・時期の工夫 ⑦その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）
- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	県の現状と課題を把握した上で、研修の企画から実施まで、高い専門性のある外部の機関へと依頼する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 24	機関名 愛知県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
 （工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
その他	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ユースやチームの分化
  - ⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ）
  - ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	①	①
②	②	②
③	③	③
④	④	④
⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④通常の学級における登壇準備の理解と支援 ⑤特別支援学級等特別支援学校対象の専門研修 ⑥特別支援教育全般の専門研修
  - ⑦特別支援学級等の今日の課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択）
- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- ①研修実施の工夫
  - ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワーキングづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
  - ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）
- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
  - ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備
  - ③研修講座の開設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
  - ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化
  - ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	担当部署が運営が主眼である研修について、内容やニーズを踏まえて実施方法や機会を精選、充実させる。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
 ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 25	機関名 三重県教育委員会事務局
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
 （工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
その他	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ユースやチームの分化
  - ⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ）
  - ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	①	①
②	②	②
③	③	③
④	④	④
⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④通常の学級における登壇準備の理解と支援 ⑤特別支援学級等特別支援学校対象の専門研修 ⑥特別支援教育全般の専門研修
  - ⑦特別支援学級等の今日の課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択）
- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- ①研修実施の工夫
  - ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワーキングづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
  - ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）
- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
  - ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備
  - ③研修講座の開設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
  - ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化
  - ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修期間においてアンケートを行い、次年度の講座構築に活かす。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
 ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	機関番号 26	機関名 滋賀県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
 （工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学校教員担当者の指導力向上	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
その他	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

- ・工夫した点  
 ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施、工夫 ④ニーズやテーマの分化  
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域、地区別の研修実施  
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（最近の知見の学び）  
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題  
 ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
 ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（学校の組織づくり） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ） ⑬その他4（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

- ・内容  
 ①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学校教員等研修 ③通級指導教室専門研修  
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の活用と解釈 ⑨通級学級における特別支援教育の観点  
 からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ） ⑭その他4（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援  
 （1）研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
①協働	④	⑤	⑥
②演習	⑦	⑧	⑨
③事例検討	⑩	⑪	⑫
④体験	⑬	⑭	⑮
⑤発表	⑯	⑰	⑱
⑥事前調査実施	⑲	⑳	㉑

- ①選択制 ②履修年数別 ③地域や学校との連携（会場使用、参観等） ④協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑤ニーズに合った講師の招聘 ⑥時間・時期の工夫  
 ⑦その他（ ）

（2）自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③
①校内外研修等への主事の派遣	④	⑤	⑥
②出前講座を実施	⑦	⑧	⑨
③休日、夜間、長期休業中の講座、相談セミナー等の開催	⑩	⑪	⑫
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し	⑬	⑭	⑮
⑤Webページ等による情報提供	⑯	⑰	⑱
⑥計画的にセンター以外の会場で開催	⑲	⑳	㉑

①受講者のニーズの選いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的委託整備  
 ③研修講師の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
 （1）課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	①	②	③
①受講者のニーズの選いへの対応	④	⑤	⑥
②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的委託整備	⑦	⑧	⑨
③研修講師の増設、受講者数の拡大等の困難さ	⑩	⑪	⑫
④研修講師の不足・確保	⑬	⑭	⑮
⑤担当指導主事の不足	⑯	⑰	⑱
⑥センターの主事自身の専門性の向上	⑲	⑳	㉑
⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化	㉒	㉓	㉔
⑧管理職への特別支援教育に関する研修	㉕	㉖	㉗
⑨研修会場確保のための予算措置	㉘	㉙	㉚
⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫	㉛	㉜	㉝

（2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者のニーズに応じられるように、「基礎編」「専門編」と分けるなど、内容に応じて選択しやい工夫を図る。
②	実践に結びついたり具体的な体感的な研修を計画する。
③	

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
 ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	機関番号 27	機関名 京都府総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
 （工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学校教員担当者の指導力向上	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
その他	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

- ・工夫した点  
 ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施、工夫 ④ニーズやテーマの分化  
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域、地区別の研修実施  
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ）  
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題  
 ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
 ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ） ⑬その他4（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢より選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

- ・内容  
 ①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学校教員等研修 ③通級指導教室専門研修  
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の活用と解釈 ⑨通級学級における特別支援教育の観点  
 からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ） ⑭その他4（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援  
 （1）研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
①協働	④	⑤	⑥
②演習	⑦	⑧	⑨
③事例検討	⑩	⑪	⑫
④体験	⑬	⑭	⑮
⑤発表	⑯	⑰	⑱
⑥事前調査実施	⑲	⑳	㉑

- ①選択制 ②履修年数別 ③地域や学校との連携（会場使用、参観等） ④協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑤ニーズに合った講師の招聘 ⑥時間・時期の工夫  
 ⑦その他（ ）

（2）自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つまで選択）

支援方法	①	②	③
①校内外研修等への主事の派遣	④	⑤	⑥
②出前講座を実施	⑦	⑧	⑨
③休日、夜間、長期休業中の講座、相談セミナー等の開催	⑩	⑪	⑫
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し	⑬	⑭	⑮
⑤Webページ等による情報提供	⑯	⑰	⑱
⑥計画的にセンター以外の会場で開催	⑲	⑳	㉑

①受講者のニーズの選いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的委託整備  
 ③研修講師の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
 （1）課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	①	②	③
①受講者のニーズの選いへの対応	④	⑤	⑥
②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的委託整備	⑦	⑧	⑨
③研修講師の増設、受講者数の拡大等の困難さ	⑩	⑪	⑫
④研修講師の不足・確保	⑬	⑭	⑮
⑤担当指導主事の不足	⑯	⑰	⑱
⑥センターの主事自身の専門性の向上	⑲	⑳	㉑
⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化	㉒	㉓	㉔
⑧管理職への特別支援教育に関する研修	㉕	㉖	㉗
⑨研修会場確保のための予算措置	㉘	㉙	㉚
⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫	㉛	㉜	㉝

（2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	地域支援センター等と連携した講座の実施
②	
③	

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
 ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 28	機関名 大阪府教育センター
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学校教員担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化  
⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他( ) ⑫その他( )

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤協働型、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他( ) ⑪その他( ) ⑫その他( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・内容  
①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学校教員等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他( ) ⑫その他( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実にあたっての支援  
(1) 研修の効果が在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他( )
- ⑨研修実施の工夫 ⑩研修実施の工夫 ⑪研修実施の工夫 ⑫研修実施の工夫

- ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他( )

(2) 自主的研修や校内外研修の充実にあたっての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談センター等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)  
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備  
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容 ① 研修内容の重複の解消と系統的な研修の実施 ② センター指導主事の専門性を向上させるための計画的な内外研修の実施
---

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 29	機関名 兵庫県立特別支援教育センター
--	------------	-----------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学校教員担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化  
⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他( ) ⑫その他( )

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤協働型、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他( ) ⑪その他( ) ⑫その他( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・内容  
①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学校教員等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他( ) ⑫その他( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実にあたっての支援  
(1) 研修の効果が在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他( )
- ⑨研修実施の工夫 ⑩研修実施の工夫 ⑪研修実施の工夫 ⑫研修実施の工夫

- ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他( )

(2) 自主的研修や校内外研修の充実にあたっての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談センター等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)  
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的條件整備  
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容 ① 受講者のニーズを的確に把握し対応する。
--------------------------------

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 30	機関名 奈良県立教育研究所
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	②	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	③	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
その他	④	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

- 工夫した点
  - ① 演習と協働を実施 ② 授業参観や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ ニューズやテーマの分化
  - ⑤ 該当講師の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施
  - ⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の実践交流 ⑩ 現状の把握と課題の重点化 ⑪ その他1（ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ）
- 課題
  - ① ニューズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニューズに合った研修体系
  - ④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 協働、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦ 研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1（ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可5つまで））

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	③	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑦	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

- 内容
  - ① 通常の学級における登壇準備の理解と支援 ② 新任特別支援学級等担当者研修 ③ 通級指導教室専門研修
  - ④ 特別支援学級対象の専門的研修 ⑤ 特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥ 特別支援教育全般の専門研修 ⑦ 特別支援教育の今日的課題 ⑧ 心理検査の実施と解釈 ⑨ 通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩ 幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪ その他1（ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援  
（1）研修の効果が在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
① 協働	①	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
② 発表	②	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
③ 事例検討	③	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
④ 体験	④	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑤ 発表	⑤	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑥ 発表	⑥	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑦ 発表	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑧ その他	⑧	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

- 研修実施の工夫
  - ① 選択制 ② 履修年数別 ③ 地域の学校との連携（会場使用、参観等） ④ 協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑤ ニューズに合った講師の招聘 ⑥ 時間・時期の工夫
  - ⑦ その他（ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ）

（2）自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
① 校内外研修等への主事の派遣	①	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
② 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し	②	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
③ 指導方法を共有した研修講座	③	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
④ 研修者のニューズへの対応	④	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑤ 研修者のニューズへの対応	⑤	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑥ 研修者のニューズへの対応	⑥	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑦ 研修者のニューズへの対応	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑧ その他	⑧	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
（1）課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
① 受講者のニューズへの対応	①	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
② 研修者のニューズへの対応	②	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
③ 研修者のニューズへの対応	③	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
④ 研修者のニューズへの対応	④	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑤ 研修者のニューズへの対応	⑤	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑥ 研修者のニューズへの対応	⑥	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑦ 研修者のニューズへの対応	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑧ その他	⑧	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

（2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
③	果の題意として実施する研修と時間や会場の調整しながら、各ニーズに応える研修を企画する。ネットに配信される講座を視聴する研修受講の可能性を考える。

- ① 研修内容及び講師選定の工夫 ② 他機関との連携 ③ 研修形態の工夫 ④ 指導主事の研さん
- ⑤ その他（ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 31	機関名 和歌山県教育センター 宇ひの丘
--	------------	------------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	②	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	③	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
その他	④	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

- 工夫した点
  - ① 演習と協働を実施 ② 授業参観や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ ニューズやテーマの分化
  - ⑤ 該当講師の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施
  - ⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の実践交流 ⑩ 現状の把握と課題の重点化 ⑪ その他1（ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ）
- 課題
  - ① ニューズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニューズに合った研修体系
  - ④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 協働、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦ 研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1（ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可5つまで））

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	③	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑦	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

- 内容
  - ① 通常の学級における登壇準備の理解と支援 ② 新任特別支援学級等担当者研修 ③ 通級指導教室専門研修
  - ④ 特別支援学級対象の専門的研修 ⑤ 特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥ 特別支援教育全般の専門研修 ⑦ 特別支援教育の今日的課題 ⑧ 心理検査の実施と解釈 ⑨ 通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩ 幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪ その他1（ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援  
（1）研修の効果が在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
① 協働	①	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
② 発表	②	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
③ 事例検討	③	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
④ 体験	④	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑤ 発表	⑤	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑥ 発表	⑥	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑦ 発表	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑧ その他	⑧	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

- 研修実施の工夫
  - ① 選択制 ② 履修年数別 ③ 地域の学校との連携（会場使用、参観等） ④ 協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑤ ニューズに合った講師の招聘 ⑥ 時間・時期の工夫
  - ⑦ その他（ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ）

（2）自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
① 校内外研修等への主事の派遣	①	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
② 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し	②	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
③ 指導方法を共有した研修講座	③	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
④ 研修者のニューズへの対応	④	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑤ 研修者のニューズへの対応	⑤	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑥ 研修者のニューズへの対応	⑥	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑦ 研修者のニューズへの対応	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑧ その他	⑧	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
（1）課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
① 受講者のニューズへの対応	①	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
② 研修者のニューズへの対応	②	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
③ 研修者のニューズへの対応	③	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
④ 研修者のニューズへの対応	④	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑤ 研修者のニューズへの対応	⑤	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑥ 研修者のニューズへの対応	⑥	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑦ 研修者のニューズへの対応	⑦	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑧ その他	⑧	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

（2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	受講対象者を絞った研修を実施する。
②	中町村教育委員会との連携の更なる充実
③	受講対象者の力量差に対し、力量別にグループを編成する。または、力量差のあるグループを編成し、宇ひの丘に集まる機会を設ける。

- ① 研修内容及び講師選定の工夫 ② 他機関との連携 ③ 研修形態の工夫 ④ 指導主事の研さん
- ⑤ その他（ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 32	機関名 鳥取県教育センター
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力状況反映されます  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答  
 ①～⑩は、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他										

- ・工夫した点  
 ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ユースやサーマの分化  
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベリング・ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1  
 ⑫その他2  
 ⑬その他3
- ・課題  
 ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
 ④レベリング、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1  
 ⑪その他2  
 ⑫その他3

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①										
②										
③										

- ・内容  
 ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
 ④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全体の  
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
 からの授業づくり ⑩幼種間や高等学級に特化した研修講座 ⑪その他1  
 ⑫その他2  
 ⑬その他3

3 研修の効率的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援  
 （1）研修の効率的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
①協賛			
②演習			
③事例検討			
④体験			
⑤発表			
⑥事前調査実施			
⑦その他			

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや  
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
 ⑧その他
- ⑨研修更新の工夫 ⑩地域・学校との連携（会場使用、参観等） ⑪協議の深まりや  
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑫ニーズに合った講師の招聘 ⑬時間・時期の工夫  
 ⑭その他

②）自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なもの3つ選択）  
 ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対話 ⑧その他

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
 （1）課題（考えられる主なもの3つ選択）

課題	①	②	③
①受講者のニーズの違いへの対応			
②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備			
③研修講師の増設、受講者数の拡大等の困難さ			
④研修講師の不足・確保			
⑤担当指導主事の不足			
⑥センターの主事自身の専門性向上			
⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化			
⑧管理職への特別支援教育に関する研修			
⑨研修会場確保のための予算措置			
⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫			
⑪その他			

②）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	障がい種、校種に応じた研修内容の工夫
②	障がい種、校種に応じた研修内容の工夫
③	専門研修や自主研修（若手セミナー）等の効果的、継続的な実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 33	機関名 鳥取県教育センター
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力状況反映されます  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答  
 ①～⑩は、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他										

- ・工夫した点  
 ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ユースやサーマの分化  
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベリング・ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1  
 ⑫その他2  
 ⑬その他3
- ・課題  
 ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
 ④レベリング、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1  
 ⑪その他2  
 ⑫その他3

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①										
②										
③										

- ・内容  
 ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
 ④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全体の  
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
 からの授業づくり ⑩幼種間や高等学級に特化した研修講座 ⑪その他1  
 ⑫その他2  
 ⑬その他3

3 研修の効率的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援  
 （1）研修の効率的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
①協賛			
②演習			
③事例検討			
④体験			
⑤発表			
⑥事前調査実施			
⑦その他			

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや  
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
 ⑧その他
- ⑨研修更新の工夫 ⑩地域・学校との連携（会場使用、参観等） ⑪協議の深まりや  
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑫ニーズに合った講師の招聘 ⑬時間・時期の工夫  
 ⑭その他

②）自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なもの3つ選択）  
 ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対話 ⑧その他

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
 （1）課題（考えられる主なもの3つ選択）

課題	①	②	③
①受講者のニーズの違いへの対応			
②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備			
③研修講師の増設、受講者数の拡大等の困難さ			
④研修講師の不足・確保			
⑤担当指導主事の不足			
⑥センターの主事自身の専門性向上			
⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化			
⑧管理職への特別支援教育に関する研修			
⑨研修会場確保のための予算措置			
⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫			
⑪その他			

②）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	特別支援学校教員、通常の学級担任等、受講対象者の校種のバランスを考えた研修を企画し、ニーズに応じることができるよう内容を工夫する
②	研修当日のみだけでなく、教育事務所やセンターの機能担当者等と連携しながら、事後もつながりをもつて支援を行う。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会	機関番号	機関名
研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	34	岡山県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他										

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化
  - ⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての詳細 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ）
  - ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①										
②										
③										
④										
⑤										
⑥										
⑦										
⑧										
⑨										
⑩										

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育者の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援

- 研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択）
  - 協賛 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- 研修実施の工夫
  - ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- 校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- 課題（考えられる主なものを3つ選択）
  - 受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	教職員のキャリアアステージと関連した研修体系の整理と県民に対する周知
③	講義・実践発表・演習・協議等を組み合わせ、一貫性のある講座運営
④	指導主事の特別支援教育に関する専門性の向上

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
- ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会	機関番号	機関名
研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	35	広島県立教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他										

- ・工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化
  - ⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての詳細 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ）
  - ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①										
②										
③										
④										
⑤										
⑥										
⑦										
⑧										
⑨										
⑩										

- ・内容
  - ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育者の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援

- 研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択）
  - 協賛 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- 研修実施の工夫
  - ①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- 校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- 課題（考えられる主なものを3つ選択）
  - 受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修講師に係る情報を県内及び県外研修等で収集する。
①	実践報告者を育成する。
①	事前アンケート等により、受講者のニーズを把握する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
- ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 36	機関名 やまぐら総合教育支援センター内 ふれあい教育センター
--	------------	--------------------------------------

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

内容	選択した点	課題
① 特別支援教育コーディネーターの養成	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
② 教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
③ 特別支援学級担当者の指導力向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
④ その他		

- ・ 工夫した点  
 ① 演習と協働を実施 ② 授業参観や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ ニュースやYouTubeの分化  
 ⑤ 該当職務の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施  
 ⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の実践交流 ⑩ 現状の把握と課題の重点化 ⑪ その他1（ ） ⑫ その他2（ ） ⑬ その他3（ ）
- ・ 課題  
 ① ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニーズに合った研修体系  
 ④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 幼種間、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効果的運営  
 ⑦ 研修内容について市教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1（ ） ⑪ その他2（ ） ⑫ その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
⑤	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- ・ 内容  
 ① 通常の学級における登壇準備の理解と支援 ② 新任特別支援学級等担当者研修 ③ 通級指導教室専門研修  
 ④ 特別支援学級対象の専門的研修 ⑤ 特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥ 特別支援教育全般の  
 専門研修 ⑦ 特別支援教育の今日的課題 ⑧ 心理検査の実施と解釈 ⑨ 通級学級における特別支援教育の観点  
 からの授業づくり ⑩ 幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪ その他1（ ） ⑫ その他2（ ） ⑬ その他3（ ）  
 ⑭ その他（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援

- (1) 研修の効果が在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択）
- |      |      |        |      |          |      |          |          |
|------|------|--------|------|----------|------|----------|----------|
| ① 協賛 | ② 演習 | ③ 事例検討 | ④ 体験 | ⑤ ロールプレイ | ⑥ 発表 | ⑦ 事前調査実施 | ⑧ その他（ ） |
|------|------|--------|------|----------|------|----------|----------|

- ① 研修実施の工夫  
 ② 選択制 ③ 履修年数別 ④ 地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤ 協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ ニーズに合った講師の招聘 ⑦ 時間・時期の工夫  
 ⑧ その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- ① 校内外研修等への主事の派遣 ② 出前講座を実施 ③ 休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
 ④ 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤ Webページ等による情報提供 ⑥ 計画的にセンター以外の  
 会場で研修を設定 ⑦ 指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧ その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- |                  |                             |                       |              |             |                   |                           |                     |                  |                    |          |
|------------------|-----------------------------|-----------------------|--------------|-------------|-------------------|---------------------------|---------------------|------------------|--------------------|----------|
| ① 受講者のニーズの違いへの対応 | ② ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的余裕確保 | ③ 研修講師の確保、受講者の拡大等の困難さ | ④ 研修講師の不足・確保 | ⑤ 担当指導主事の不足 | ⑥ センターの主事自身の専門性向上 | ⑦ 県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 | ⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修 | ⑨ 研修会場確保のための予算措置 | ⑩ 時間・会場等、講座開設方法の工夫 | ⑪ その他（ ） |
|------------------|-----------------------------|-----------------------|--------------|-------------|-------------------|---------------------------|---------------------|------------------|--------------------|----------|

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
②	県内大学との連携による講座 市町教委との連携による講座
③	学校会場による実地研修

- ① 研修内容及び講師選定の工夫 ② 他機関との連携 ③ 研修形態の工夫 ④ 指導主事の研さん  
 ⑤ その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 37	機関名 徳島県立総合教育センター
--	------------	---------------------

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

内容	選択した点	課題
① 特別支援教育コーディネーターの養成	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
② 教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
③ 特別支援学級担当者の指導力向上	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
④ その他		

- ・ 工夫した点  
 ① 演習と協働を実施 ② 授業参観や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ ニュースやYouTubeの分化  
 ⑤ 該当職務の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施  
 ⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の実践交流 ⑩ 現状の把握と課題の重点化 ⑪ その他1（ ） ⑫ その他2（ ） ⑬ その他3（ ）
- ・ 課題  
 ① ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニーズに合った研修体系  
 ④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 幼種間、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効果的運営  
 ⑦ 研修内容について市教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1（ ） ⑪ その他2（ ） ⑫ その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
⑤	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- ・ 内容  
 ① 通常の学級における登壇準備の理解と支援 ② 新任特別支援学級等担当者研修 ③ 通級指導教室専門研修  
 ④ 特別支援学級対象の専門的研修 ⑤ 特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥ 特別支援教育全般の  
 専門研修 ⑦ 特別支援教育の今日的課題 ⑧ 心理検査の実施と解釈 ⑨ 通級学級における特別支援教育の観点  
 からの授業づくり ⑩ 幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪ その他1（ ） ⑫ その他2（ ） ⑬ その他3（ ）  
 ⑭ その他（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援

- (1) 研修の効果が在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択）
- |      |      |        |      |          |      |          |          |
|------|------|--------|------|----------|------|----------|----------|
| ① 協賛 | ② 演習 | ③ 事例検討 | ④ 体験 | ⑤ ロールプレイ | ⑥ 発表 | ⑦ 事前調査実施 | ⑧ その他（ ） |
|------|------|--------|------|----------|------|----------|----------|

- ① 研修実施の工夫  
 ② 選択制 ③ 履修年数別 ④ 地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤ 協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ ニーズに合った講師の招聘 ⑦ 時間・時期の工夫  
 ⑧ その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- ① 校内外研修等への主事の派遣 ② 出前講座を実施 ③ 休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
 ④ 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤ Webページ等による情報提供 ⑥ 計画的にセンター以外の  
 会場で研修を設定 ⑦ 指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧ その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- |                  |                             |                       |              |             |                   |                           |                     |                  |                    |          |
|------------------|-----------------------------|-----------------------|--------------|-------------|-------------------|---------------------------|---------------------|------------------|--------------------|----------|
| ① 受講者のニーズの違いへの対応 | ② ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的余裕確保 | ③ 研修講師の確保、受講者の拡大等の困難さ | ④ 研修講師の不足・確保 | ⑤ 担当指導主事の不足 | ⑥ センターの主事自身の専門性向上 | ⑦ 県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化 | ⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修 | ⑨ 研修会場確保のための予算措置 | ⑩ 時間・会場等、講座開設方法の工夫 | ⑪ その他（ ） |
|------------------|-----------------------------|-----------------------|--------------|-------------|-------------------|---------------------------|---------------------|------------------|--------------------|----------|

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	研修体系の整備や研修講座の改善

- ① 研修内容及び講師選定の工夫 ② 他機関との連携 ③ 研修形態の工夫 ④ 指導主事の研さん  
 ⑤ その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	機関番号 38	機関名 香川県教育センター
--	------------	------------------

研修に関する事項  
特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方

※各欄で、ドロッパダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学校教職担当者の指導力向上	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
その他					

- 工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業參觀や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化
  - ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- 課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ）
  - ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	①	①
②	②	②
③	③	③
④	④	④
⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥

- 内容
  - ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学校等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
  - ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の基礎と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択）
- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- 研修実施の工夫
- ①選択制 ②履修種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会費使用、參觀等） ⑤協議の深まりやネットワーキングづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- 支援方法
- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出席講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
  - ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- | 課題   | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| ①受講者のニーズの選いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備                  |   |   |   |   |   |   |   |
| ③研修講座の増設、受講者の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足                  |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化                    |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ） |   |   |   |   |   |   |   |

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
① 研修終了時のアンケート等をもとに、より受講者のニーズを反映した研修を企画、実施する。	

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	機関番号 39	機関名 愛媛県総合教育センター
--	------------	--------------------

研修に関する事項  
特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方

※各欄で、ドロッパダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

内容	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号	選択肢番号
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学校教職担当者の指導力向上	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
その他					

- 工夫した点
  - ①演習と協働を実施 ②授業參觀や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化
  - ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
  - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- 課題
  - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
  - ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営
  - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ）
  - ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	①	①
②	②	②
③	③	③
④	④	④
⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥

- 内容
  - ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学校等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
  - ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
  - ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の基礎と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
  - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択）
- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- 研修実施の工夫
- ①選択制 ②履修種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会費使用、參觀等） ⑤協議の深まりやネットワーキングづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- 支援方法
- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出席講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
  - ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- | 課題   | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| ①受講者のニーズの選いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備                  |   |   |   |   |   |   |   |
| ③研修講座の増設、受講者の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足                  |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化                    |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ） |   |   |   |   |   |   |   |

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
① アンケート等により受講者のニーズの把握に努めるとともに、特別支援教育に関するキャリアアステーションに応じた研修を実施し、個々の教員の資質・能力の向上を図る。	

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 40	機関名 高知県教育センター
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化  
⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤協働型、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・内容  
①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援  
（1）研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えらるるものを各3つ選択）

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- ①選択肢 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他（ ）

- ①自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）  
①校内外研修等への主事の派遣 ②出席講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- ①受講者のニーズの多いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備  
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他（ ）

②今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
① 全校種に対応した研修テーマの設定	
② 各教育事務所と連携し、研修の広域やオープン参加を可能とするなど、より多くの教職員が受講できるように対応を考える。	
③ 研修内容及び講師選定の工夫 ④ 他機関との連携 ⑤ 研修形態の工夫 ⑥ 指導主事の研さん ⑦ その他（ ）	

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 41	機関名 福岡県教育センター
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化  
⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤協働型、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・内容  
①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援  
（1）研修の効果的な在り方（講師の持ち方等の工夫について効果的に考えらるるものを各3つ選択）

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- ①選択肢 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他（ ）

- ①自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）  
①校内外研修等への主事の派遣 ②出席講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- ①受講者のニーズの多いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備  
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他（ ）

②今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
① 受講者のニーズ及び現在の動向からの研修内容見直し ・アンテナ集約結果及び関係部署との情報交換による受講者のニーズ把握	
③ より受講者が親近意識をもつて、主体的に研修を行うための研修形態の工夫	
④ 研修内容及び講師選定の工夫 ⑤ 他機関との連携 ⑥ 研修形態の工夫 ⑦ 指導主事の研さん ⑧ その他（ ）	

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 42	機関名 佐賀県教育センター
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化  
⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可5つまで））

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・内容  
①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通級学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援  
（1）研修の効果が在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択）

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- ①研修実施の工夫 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
- ②選択期 ③履修年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他（ ）

（2）自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
（1）課題（考えられる主なものを3つ選択）

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備  
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他（ ）

（2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	県内での研修講座を実施するため、年度毎に障害種別の研修講座に予算的 な負担を付け、遠方から講師招聘を行う。
②	教員や教育関係者の特別支援教育担当者間で、研修の在り方について定期的な会 議を設ける。
③	主体的な参加を促すため、協議演習を取り入れた研修講座の設定を行う。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 43	機関名 長崎県教育センター
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化  
⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可5つまで））

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・内容  
①通常の学級における登壇者の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通級学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援  
（1）研修の効果が在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択）

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- ①研修実施の工夫 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
- ②選択期 ③履修年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他（ ）

（2）自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
（1）課題（考えられる主なものを3つ選択）

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備  
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他（ ）

（2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	県内での研修講座を実施するため、年度毎に障害種別の研修講座に予算的 な負担を付け、遠方から講師招聘を行う。
②	教員や教育関係者の特別支援教育担当者間で、研修の在り方について定期的な会 議を設ける。
③	主体的な参加を促すため、協議演習を取り入れた研修講座の設定を行う。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他（ ）



第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 46	機関名 宮崎県教育研修センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学校教員担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・ 工夫した点
  - ① 演習と協働を実施 ② 授業参観や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ コーディネーターの分化
  - ⑤ 該当協働の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施
  - ⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の実践交流 ⑩ 現状の把握と課題の重点化 ⑪ その他1 (講師の確保)
  - ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )
- ・ 課題
  - ① ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニーズに合った研修体系
  - ④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 幼種間、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦ 研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1 ( ) ⑪ その他2 ( ) ⑫ その他3 ( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援  
(1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)

- ① 協働 ② 演習 ③ 事例検討 ④ 体験 ⑤ ロールプレイ ⑥ 発表 ⑦ 事前調査実施 ⑧ その他 ( )

① 研修実施の工夫 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 選択制 ② 履修種別 ③ 履修年数別 ④ 地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤ 協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ ニーズに合った講師の招聘 ⑦ 時間・時期の工夫 ⑧ その他 ( )

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

- ① 校内外研修等への主事の派遣 ② 出前講座を実施 ③ 休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
- ④ 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤ Webページ等による情報提供 ⑥ 計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦ 指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧ その他 ( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
(1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)

- ① 受講者のニーズの違いへの対応 ② ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備
- ③ 研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④ 研修講師の不足・確保 ⑤ 担当指導主事の不足
- ⑥ センターの主事自身の専門性向上 ⑦ 県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化
- ⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨ 研修会場確保のための予算措置 ⑩ 時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪ その他 ( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的内容
-------	-------

- ① 受講者のニーズに応じた研修としていくため、事前アンケート調査を実施し、研修講座を能く立てる。
- ② 管理職への特別支援教育に関する研修に関して、市町村教育委員会や教育事務所との連携を図る。

① 研修内容及び講師選定の工夫 ② 他機関との連携 ③ 研修形態の工夫 ④ 指導主事の研さん ⑤ その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 47	機関名 鹿児島県総合教育センター
--	------------	---------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援学校教員担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・ 工夫した点
  - ① 演習と協働を実施 ② 授業参観や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ コーディネーターの分化
  - ⑤ 該当協働の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施
  - ⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の実践交流 ⑩ 現状の把握と課題の重点化 ⑪ その他1 ( )
  - ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )
- ・ 課題
  - ① ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニーズに合った研修体系
  - ④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 幼種間、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効率的運営
  - ⑦ 研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1 ( ) ⑪ その他2 ( ) ⑫ その他3 ( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援  
(1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)

- ① 協働 ② 演習 ③ 事例検討 ④ 体験 ⑤ ロールプレイ ⑥ 発表 ⑦ 事前調査実施 ⑧ その他 ( )

① 研修実施の工夫 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 選択制 ② 履修種別 ③ 履修年数別 ④ 地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤ 協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ ニーズに合った講師の招聘 ⑦ 時間・時期の工夫 ⑧ その他 ( )

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

- ① 校内外研修等への主事の派遣 ② 出前講座を実施 ③ 休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
- ④ 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤ Webページ等による情報提供 ⑥ 計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦ 指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧ その他 ( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
(1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)

- ① 受講者のニーズの違いへの対応 ② ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備
- ③ 研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④ 研修講師の不足・確保 ⑤ 担当指導主事の不足
- ⑥ センターの主事自身の専門性向上 ⑦ 県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化
- ⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨ 研修会場確保のための予算措置 ⑩ 時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪ その他 ( )

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的内容
-------	-------

- ① 受講者のニーズに応じた研修のための研修方法の工夫 (センター招集型から出前型へ)

① 研修内容及び講師選定の工夫 ② 他機関との連携 ③ 研修形態の工夫 ④ 指導主事の研さん ⑤ その他 ( )



第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	機関番号 50	機関名 川崎川総合教育センター特別支援教育センター
--	------------	------------------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容と一致させます。  
 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
 （工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
特別支援教育コーディネーターの養成													
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上													
特別支援学級担当者の指導力向上													
その他													

・工夫した点  
 ①演習と協議を実施 ②授業參觀や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ユースやサービスの分化  
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ）  
 ⑬その他3（ ）

・課題  
 ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
 ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営  
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
③													
④													
⑩													

・内容  
 ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
 ④通常の学級における登壇準備の理解と支援 ⑤特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全体の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通級学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援  
 （1）研修の効果が在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①協議										
②演習										
③事例検討										
④体験										
⑤ロールプレイ										
⑥発表										
⑦事前調査実施										
⑧その他										

①選択肢 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、參觀等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

（2）自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①校内外研修等への主事の派遣										
②出前講座を実施										
③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催										
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し										
⑤Webページ等による情報提供										
⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定										
⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応										
⑧その他										

①受講者のニーズの深いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的体制整備  
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

（2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	働き方改革と相まって、他の研修と内容や時期等にかかわる調整・生鮮

①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
 ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	機関番号 51	機関名 横浜市特別支援教育総合センター
--	------------	------------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容と一致させます。  
 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
 （工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
特別支援教育コーディネーターの養成													
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上													
特別支援学級担当者の指導力向上													
その他													

・工夫した点  
 ①演習と協議を実施 ②授業參觀や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ユースやサービスの分化  
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ）  
 ⑬その他3（ ）

・課題  
 ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
 ④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効果的運営  
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
③													
④													
⑩													

・内容  
 ①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
 ④通常の学級における登壇準備の理解と支援 ⑤特別支援学級等特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全体の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通級学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ） ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援  
 （1）研修の効果が在り方（講義の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①協議										
②演習										
③事例検討										
④体験										
⑤ロールプレイ										
⑥発表										
⑦事前調査実施										
⑧その他										

①選択肢 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、參觀等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

（2）自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①校内外研修等への主事の派遣										
②出前講座を実施										
③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催										
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し										
⑤Webページ等による情報提供										
⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定										
⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応										
⑧その他										

①受講者のニーズの深いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的体制整備  
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

（2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	講義内容のビデオ配信

①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
 ⑤その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 52	機関名 名古屋市教育センター
--	------------	-------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
特別支援学級担任者の指導力向上	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ユースやチームの分化  
⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1 ( ) ⑪その他2 ( ) ⑫その他3 ( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
②	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
③	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
④	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑤	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑥	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑦	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑧	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑨	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑩	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

- ・内容  
①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援  
(1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えらるるものを各3つ選択)

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ( )

- ①研修実施の工夫  
①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他 ( )

- ②自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)  
①校内外研修等への主事の派遣 ②出席講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)  
①受講者のニーズの多いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的確保  
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他 ( )

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)  
研究の内容  
具体的内容

② 都道府県と政令市、特別支援学校が実施する研修を、相互に受講可能とする。ただ し、互いの研修の体系や範囲、受講手続きなどの調整が課題だと思ふ。
③ 受講者が参加しやすい、ニーズにたいより、ニーズに応じられるように、例えば、webで研 修を配信する。ただし、内容の更新や効果測定などのシステム作りが課題だと思ふ。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 53	機関名 京都市総合教育センター（総合育成支援課）
--	------------	-----------------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
特別支援学級担任者の指導力向上	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
その他	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ユースやチームの分化  
⑤該当協働の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼種間、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1 ( ) ⑪その他2 ( ) ⑫その他3 ( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
②	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
③	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
④	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑤	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑥	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑦	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑧	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑨	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑩	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

- ・内容  
①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼種間や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援  
(1) 研修の効果的な在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えらるるものを各3つ選択)

- ①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ( )

- ①研修実施の工夫  
①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他 ( )

- ②自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)  
①校内外研修等への主事の派遣 ②出席講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)  
①受講者のニーズの多いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的確保  
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他 ( )

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)  
研究の内容  
具体的内容

① 研修の受講や実践経験を促す、一定の力量や知識を身に付けた教員がさらに指導力・ 専門性を向上させるための研修を充実させていく。
---

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他 ( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会	機関番号	機関名
研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	54	大阪府教育委員会事務局 指導部 インクルーシブ教育推進室

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）
- ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
- | 内容                  | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
|---------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別支援教育コーディネーターの養成   | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| 教育相談や心理検査にかかわる専門性向上 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| 特別支援学級担当者の指導力向上     | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| その他                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））
- ① 演習と協働を実施 ② 授業参観や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ ニューズやチャームの分化  
⑤ 該当職務の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施  
⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の実践交流 ⑩ 現状の把握と課題の重点化 ⑪ その他1（ ） ⑫ その他2（ ） ⑬ その他3（ ）
- ・ 課題
- ① ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニーズに合った研修体系  
④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 幼種間、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効率的運営  
⑦ 研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1（ ） ⑪ その他2（ ） ⑫ その他3（ ）

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑧	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑨	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑩	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- 3 研修の効率的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援  
（1）研修の効率的な在り方（課程の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択）
- ① 協働 ② 演習 ③ 事例検討 ④ 体験 ⑤ ロールプレイ ⑥ 発表 ⑦ 事前調査実施 ⑧ その他（ ）
- ・ 研修実施の工夫
- ① 選択制 ② 履修年数別 ③ 地域や学校との連携（会場使用、参観等） ④ 協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑤ ニーズに合った講師の招聘 ⑥ 時間・時期の工夫 ⑦ その他（ ）
- ・ 支援方法
- ① 校内外研修等への主事の派遣 ② 出前講座を実施 ③ 休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④ 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤ Webページ等による情報提供 ⑥ 計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦ 指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧ その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
（1）課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ① 受講者のニーズの多いへの対応 ② ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備  
③ 研修講師の確保、受講者の拡大等の困難さ ④ 研修講師の不足・確保 ⑤ 担当指導主事の不足  
⑥ センターの主事自身の専門性向上 ⑦ 県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨ 研修会場確保のための予算措置 ⑩ 時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪ その他（ ）
- （2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	発着型について、実態把握・指導・自立と社会参加に関する専門性の高い有識者（大学教員等）による座談会を継続して実施していく。
③	上記の講座を受講した教員が、各地域の特別支援教育推進のリーダーとして相談支援、事例報告等を行い、本市特別支援教育を一層推進していく。

- ① 研修内容及び講師選定の工夫 ② 他機関との連携 ③ 研修形態の工夫 ④ 指導主事の研さん  
⑤ その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会	機関番号	機関名
研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門性向上のための研修の在り方	55	広島市教育センター

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）
- ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
- | 内容                  | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
|---------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別支援教育コーディネーターの養成   | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| 教育相談や心理検査にかかわる専門性向上 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| 特別支援学級担当者の指導力向上     | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| その他                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））
- ① 演習と協働を実施 ② 授業参観や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ ニューズやチャームの分化  
⑤ 該当職務の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施  
⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の実践交流 ⑩ 現状の把握と課題の重点化 ⑪ その他1（ ） ⑫ その他2（ ） ⑬ その他3（ ）
- ・ 課題
- ① ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニーズに合った研修体系  
④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 幼種間、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効率的運営  
⑦ 研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1（ ） ⑪ その他2（ ） ⑫ その他3（ ）

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑧	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑨	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑩	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- 3 研修の効率的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援  
（1）研修の効率的な在り方（課程の持ち方等の工夫について効果的と考えたものを各3つ選択）
- ① 協働 ② 演習 ③ 事例検討 ④ 体験 ⑤ ロールプレイ ⑥ 発表 ⑦ 事前調査実施 ⑧ その他（ ）
- ・ 研修実施の工夫
- ① 選択制 ② 履修年数別 ③ 地域や学校との連携（会場使用、参観等） ④ 協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑤ ニーズに合った講師の招聘 ⑥ 時間・時期の工夫 ⑦ その他（ ）
- ・ 支援方法
- ① 校内外研修等への主事の派遣 ② 出前講座を実施 ③ 休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④ 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤ Webページ等による情報提供 ⑥ 計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦ 指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧ その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策  
（1）課題（考えられる主なものを3つ選択）
- ① 受講者のニーズの多いへの対応 ② ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件的整備  
③ 研修講師の確保、受講者の拡大等の困難さ ④ 研修講師の不足・確保 ⑤ 担当指導主事の不足  
⑥ センターの主事自身の専門性向上 ⑦ 県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨ 研修会場確保のための予算措置 ⑩ 時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪ その他（ ）
- （2）今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	人的・予算的の確保が課題であり、広島市教育委員会学校教育部特別支援教育課と連携を取り、充実させたい。
①	経験年数や力量差に対応するため、講師との事前打合せ時に受講者の状況を伝える等、ニーズに応じた研修が実施できるように努めたい。

- ① 研修内容及び講師選定の工夫 ② 他機関との連携 ③ 研修形態の工夫 ④ 指導主事の研さん  
⑤ その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会	機関番号	機関名
研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	56	北九州市立特別支援教育相談センター

※各欄で、ドロッツァウンスリストから該当する選択肢番号を選んで回答

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

内容	工夫した点	課題
特別支援教育コーディネーターの養成	① ③ ⑤	② ⑧ ⑩
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	③ ④ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ⑤ ⑥ ⑪ ⑫
特別支援学級担当者の指導力向上	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
その他（ ）		

- 工夫した点  
① 演習と協働を重視 ② 授業参観や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ コースやテーマの分化  
⑤ 該当職務の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施  
⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の異校種交流 ⑩ 現状の把握と課題の焦点化 ⑪ その他1（ ）  
⑫ その他2（ ） ⑬ その他3（ ）
- 課題  
① ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニーズに合った研修体系  
④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 幼種園、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効率的運営  
⑦ 研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1（ ） ⑪ その他2（ ） ⑫ その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ⑥ ⑩	② ④ ⑤ ⑧ ⑨
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 内容  
① 通常の学級における発達障害の理解と支援 ② 新任特別支援学級等担当者研修 ③ 通級指導教室専門研修  
④ 特別支援学級対象の専門的研修 ⑤ 特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥ 特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦ 特別支援教育の今日的課題 ⑧ 心理検査の実施と解釈 ⑨ 通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩ 幼種園や高等学校に特化した研修講座 ⑪ その他1（ ）  
⑫ その他2（ ） ⑬ その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援

(1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
① 協働 ② 演習 ③ 事例検討 ④ 体験 ⑤ ロールプレイ ⑥ 発表 ⑦ 事前調査実施 ⑧ その他（ ）	

研修実施の工夫  
① 選択別 ② 履修種別 ③ 経験年数別 ④ 地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤ 協働の深まりや  
ネットワーキングを意識したグループ編成 ⑥ ニーズに合った講師の招聘 ⑦ 時間・時間の工夫  
⑧ その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援（実施している支援方法のうち主なもの3つ選択）

① 校内外研修等への主事の派遣 ② 出前講座を実施 ③ 休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④ 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤ Webページ等による情報提供 ⑥ 計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦ 指導方法やアセスメントについて電話、メール等対応 ⑧ その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

(1) 課題（考えられる主なもの3つ選択）

① 受講者のニーズの違いへの対応 ② ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備  
③ 受講講座の開設、受講者の拡大等の困難さ ④ 研修講師の不足・確保 ⑤ 担当指導主事の不足  
⑥ センターの主事自身の専門性向上 ⑦ 県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨ 研修会場確保のための予算措置 ⑩ 時間・会議等、講座開設方法の  
工夫 ⑪ その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	近隣大学との連携による講師の選定
②	発達障害者支援センター等との連携
③	演習や協働を取り入れた研修形態の工夫
④	研修内容及び講師選定の工夫
⑤	その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会	機関番号	機関名
研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	57	福岡市教育委員会 発達教育センター

※各欄で、ドロッツァウンスリストから該当する選択肢番号を選んで回答

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

内容	工夫した点	課題
特別支援教育コーディネーターの養成	① ③ ⑤	② ⑧ ⑩
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上	③ ④ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ⑤ ⑥ ⑪ ⑫
特別支援学級担当者の指導力向上	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
その他（ ）		

- 工夫した点  
① 演習と協働を重視 ② 授業参観や実践発表実施 ③ 事例検討会の実施・工夫 ④ コースやテーマの分化  
⑤ 該当職務の新任者の研修実施 ⑥ レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦ 地域・地区別の研修実施  
⑧ 校種別の研修実施 ⑨ 異校種間の異校種交流 ⑩ 現状の把握と課題の焦点化 ⑪ その他1（ ）  
⑫ その他2（ ） ⑬ その他3（ ）
- 課題  
① ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ② 受講対象者の力量差 ③ 研修者のニーズに合った研修体系  
④ レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤ 幼種園、高校対象の研修実施 ⑥ 受講者増加に伴う効率的運営  
⑦ 研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧ 受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨ 指導者・講師の確保 ⑩ その他1（ ） ⑪ その他2（ ） ⑫ その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可5つまで））

内容	工夫した点	課題
①	① ⑥ ⑩	② ④ ⑤ ⑧ ⑨
②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 内容  
① 通常の学級における発達障害の理解と支援 ② 新任特別支援学級等担当者研修 ③ 通級指導教室専門研修  
④ 特別支援学級対象の専門的研修 ⑤ 特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥ 特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦ 特別支援教育の今日的課題 ⑧ 心理検査の実施と解釈 ⑨ 通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩ 幼種園や高等学校に特化した研修講座 ⑪ その他1（ ）  
⑫ その他2（ ） ⑬ その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援

(1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的に考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
① 協働 ② 演習 ③ 事例検討 ④ 体験 ⑤ ロールプレイ ⑥ 発表 ⑦ 事前調査実施 ⑧ その他（ ）	

研修実施の工夫  
① 選択別 ② 履修種別 ③ 経験年数別 ④ 地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤ 協働の深まりや  
ネットワーキングを意識したグループ編成 ⑥ ニーズに合った講師の招聘 ⑦ 時間・時間の工夫  
⑧ その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援（実施している支援方法のうち主なもの3つ選択）

① 校内外研修等への主事の派遣 ② 出前講座を実施 ③ 休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④ 文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤ Webページ等による情報提供 ⑥ 計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦ 指導方法やアセスメントについて電話、メール等対応 ⑧ その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

(1) 課題（考えられる主なもの3つ選択）

① 受講者のニーズの違いへの対応 ② ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備  
③ 受講講座の開設、受講者の拡大等の困難さ ④ 研修講師の不足・確保 ⑤ 担当指導主事の不足  
⑥ センターの主事自身の専門性向上 ⑦ 県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨ 研修会場確保のための予算措置 ⑩ 時間・会議等、講座開設方法の  
工夫 ⑪ その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的内容
①	近隣大学との連携による講師の選定
②	発達障害者支援センター等との連携
③	演習や協働を取り入れた研修形態の工夫
④	研修内容及び講師選定の工夫
⑤	その他（ ）

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 58	機関名 静岡市特別支援教育センター
--	------------	----------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化  
⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他( )

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

- ・内容  
①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援

- (1) 研修の効果が在り方(講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)  
①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他( )

- ①研修実施の工夫  
①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他( )

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)  
①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)  
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備  
③研修講座の増設、受講者の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他( )

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)  
研究の内容  
① 文料書等が配信している研修のVTRを各校の実情に応じて視聴する。  
② 大学と連携して大学の講座等に教職員が参加する。  
③

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 59	機関名 底松市教育総合支援センター
--	------------	----------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力内容が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

- ・工夫した点  
①演習と協働を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニューズやページの分化  
⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他( )

- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題  
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
②	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
③	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

- ・内容  
①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援

- (1) 研修の効果が在り方(講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)  
①協働 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他( )

- ①研修実施の工夫  
①選択制 ②履修種別 ③履修年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他( )

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けたの支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)  
①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)  
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備  
③研修講座の増設、受講者の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他( )

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)  
研究の内容  
① より実践的な内容について、経験豊富な退職教員等を活用した研修  
② 巡回相談形式でOJT的な指導が受けられる研修  
③

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 60	機関名 新島市立総合教育センター
--	------------	---------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	1	2	3	4	5	6	7	8
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上								
その他								

- ・工夫した点  
①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化  
⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他( ) ⑫その他( )
- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他( ) ⑪その他( ) ⑫その他( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	1	2	3	4	5
③					
④					
⑤					
⑥					

- ・内容  
①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他( ) ⑫その他( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援

- (1) 研修の効果が在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)  
①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他( )

研修実施の工夫	1	2	3	4	5	6	7
①							
②							
③							
④							

- ①選択別 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワーキングを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他( )
- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)  
①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)  
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備  
③研修講師の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他( )
- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)  
研究の内容  
② 特別支援教育にかかわる市教委の各部署との一層の連携と役割分担をすすめること。  
④ 特別支援教育にかかわる研修講座の内容の検討と共有化

研究の内容	1	2	3	4	5
②					
④					

①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他( )

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第2分科会 研修に関する事項 特別支援教育に携わるすべての教職員の専門 性向上のための研修の在り方	機関番号 61	機関名 相模原市教育センター
--	------------	-------------------

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます。  
特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題  
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)  
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	1	2	3	4	5	6	7	8
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかわる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上								
その他								

- ・工夫した点  
①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④ニーズやテーマの分化  
⑤該当講師の新任者の研修実施 ⑥レベラアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施  
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の重点化 ⑪その他( ) ⑫その他( )
- ・課題  
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系  
④レベラアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営  
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・  
講師の確保 ⑩その他( ) ⑪その他( ) ⑫その他( )

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内容	1	2	3	4	5
③					
④					
⑤					
⑥					

- ・内容  
①通常の学級における登壇準備の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修  
④特別支援学級対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の  
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点  
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他( ) ⑫その他( )

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援

- (1) 研修の効果が在り方 (講義の持ち方等の工夫について効果的に考えたものを各3つ選択)  
①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他( )

研修実施の工夫	1	2	3	4	5	6
①						
②						
③						
④						

- ①選択別 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや  
ネットワーキングを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫  
⑧その他( )
- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けた支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)  
①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催  
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の  
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他( )

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)  
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的負担整備  
③研修講師の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足  
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県、市教委が行う施策・研修との調整による効率化  
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の  
工夫 ⑪その他( )
- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)  
研究の内容  
② 特別支援教育に関するニーズが高くなってきている現状で、ニーズに応じた研修の実施、  
研修講座の開設に対応するためには、センターの研修以外に近隣の自治体や大学等と

研究の内容	1	2	3	4	5
②					

①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん  
⑤その他( )